

超小型視線検出モジュールによる目視確認サポート装置の開発

研究期間：平成23年度～平成25年度

研究目的

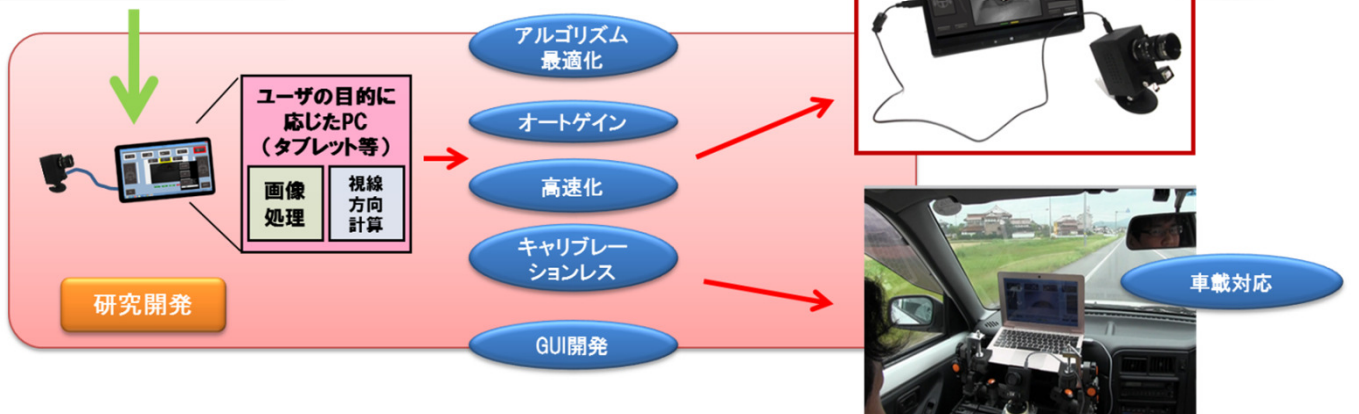
重度身障者の環境制御等で使用されるが視線検出装置について、小型、低価格で非装着の検出装置アイマウスを開発してきた。アイマウスを視線検出モジュールとして、超小型、低価格化し、自動車や家電、医療、レジャー分野等で活用可能な、目視確認サポート装置を開発する。

研究内容

既存の視線検出装置



ソフトウェア化



①車載表示画面の操作に適し、キャリブレーション不要のヒューマンインターフェースの研究開発

②ソフトウェア化による小型カメラとタブレットPCのみで動作する視線検出装置の研究開発

研究成果



- ◆ 小型・低コストで自動車や福祉分野まで幅広く活用可能な視線検出モジュールを開発しました。
- ◆ ソフトウェア化によりタブレットPC等で動作し、用途に応じたGUI※のカスタマイズを可能としました。
- ◆ 視線検出のための較正行程を必要としない、キャリブレーションレスプログラムとGUIを開発しました。

※GUI (Graphic User Interface) : コンピュータを操作するためのアイコンやボタン等